



Sindikat kulture in narave Slovenije

Dalmatinova ulica 4, 1000 Ljubljana

スロベニア共和国

[glosa@sindikat-zsss.si](mailto:glosa@sindikat-zsss.si)

<http://www.sindikat-glosa.si/sl/>

厚生労働大臣 田村憲久殿

東京都千代田区霞が関1-2-2 日本

令和2年11月19日

## 日本の芸能界と文化芸術に携わるフリーランス芸能従事者の絶望的な状態について

良識ある大臣へ

GLOSA グローサはスロベニア共和国にある文化と自然を守るための労働組合で、FIA 国際俳優連合に加盟し、FIM 国際音楽家連盟や UNI-MEI ユニメイの芸能メディアや文化、芸術スポーツの部署と連携しています。新型コロナウイルスのパンデミックと、その蔓延を抑えるために日本で講じられた厳しい措置の結果、メディアおよび芸能界や文化芸術に携わるフリーランスの芸能従事者が今日耐えている危機的な状況に警鐘を鳴らすために申し上げます。

この間のウイルスに対する措置が人命を救うために不可欠であることは自明の理ですが、日本の正規雇用者は収入を維持しているのに反し、未払賃金確保制度や傷病手当金など、財政支援を利用できない多くの独立請負業者への甚大な影響を懸念しています。

フリーランスの俳優、音楽家、技術スタッフ等の日本の芸能従事者の大多数は、収益を見込んで、製作過程で多額の経費を投じて働いていましたが、膨大な芸能分野の成果物のキャンセルにより多額の損金が生じたため、次の企画は消滅せざるを得ません。このような絶望的な状況にもかかわらず、私たちの加盟団体の誰もこの経済的損失を補償されていません。

その結果、芸能界及び文化芸術に携わるフリーランスの芸能従事者は、貧困線のしきい値を下回って生活しています。彼らの大多数は今年2月以来収入が50%以上減少しており、無収入で生活している人もいます！

日本の芸能従事者が円滑に利用できる補助金や緊急助成金がないため、生存が脅かされ、また不安定な収入に依存している家族の生存も危機に瀕しています。まだ仕事を再開するのに十分安全な状況にはないにも関わらず、ウイルスの感染から身を守る余裕がありません。

このパンデミックにおいて、カナダ、米国、英国、及びほとんどの EU 諸国を含む、世界中の多くの国が、すべての労働者に包括的な福祉と収益の保護を提供するため、大胆かつ前例のない措置を講じ、独立請負業者と従業員に同等のサポートを提供しています。不安定な状況にも関わらず、この平等なサポートが、少なくとも窮迫した状況を救うことができたことは、日本と大きく異なります。

私たちはこれらの対策には非常に高額な予算を使っています。この対策は非常に大きな値段を払い、次の仕事ができるまでの保障をしましたが、日本ではこの間の損失は誰も補償されていない！

その結果、メディアや芸能界の俳優やフリーランスたちが貧困の閾値の下に暮らしています。2020年2月から50パーセント以上も収入が下がるのを見ており、驚くべき割合は収入ゼロで生活していると報告されている。

私たちは日本政府に対し、彼らの絶望的な呼びかけを聞き、この危機の間、メディアおよび芸能界と文化芸術に携わるすべてのフリーランス芸能従事者に、有意義な支援措置を迅速に拡大することを要請します。

あなたの良心に訴えて

ミッチャ・シスター  
グローサ労働組合 組合長

Mitja Šuštar  
President of Glosa

